

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

最新の本市の感染状況について、10月中旬以降5週にわたり増加傾向が継続していることから、一時的な再拡大ではなく、新たな感染拡大期に入ったのではないかと認識しています。

今後、流行株の置き換わりの状況や、年末にかけての社会経済活動の活発化による接触機会の増加等が感染状況に影響するおそれもあることから、感染予防や早期発見、また、感染した場合であっても安心して療養生活を送ることができるよう、これらの2つの柱による取組の強化により、本市の新型コロナ対策に万全を期してまいりたいと考えております。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会 副会長も務める



さいたまサステイナブル都市サミット E-KIZUNAグローバルサミットを開催

11月22日から24日まで、イクレイ日本と共催し、「さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNAグローバルサミット～」を開催しました。

9カ国、15都市から329名の方の参加があり、さいたま市にとって過去最大のたいへん国際色豊かな、まさに「グローバルなサミット」として開催することができました。

来賓として国定勇人環境大臣政務官、指定都市市長会会長の久元神戸市長をお迎えし、ジノ・バン・ベギン イクレイ世界事務局長、(公財)地球環境戦略研究機関竹内理事長の基調講演を皮切りに、全体セッションと6つの分科会を開催いたしました。

特にクアラルンプール市長からは、「クアラルンプール市の脱炭素やスマートシティの取組に対して、さいたま市にぜひ協力いただきたい」と強い要請をいただき、私としても、しっかりと協力していくことをお伝えさせていただきました。このように本サミットの開催による海外との連携が生まれておりますが、それぞれの都市・企業が抱える課題や取組について、意見交換や情報共有を行ったことで、参加された皆様同士の「絆」が生まれました。

開催にご尽力いただいた「イクレイ日本」の皆様をはじめ、参加者や関係者の皆様に深く感謝します。

